

Case : 343

ポータブルトイレが動き、転倒しそうになる

場面の説明

ひじ掛けのないポータブルトイレを使用しており、座位安定と立ち上がりの補助にポータブルトイレ用手すりを導入した。トイレと手すりが固定ができず、使用のたびに動いてしまい転倒しそうになった。



利用シーン	 排泄
主な利用場所	 寝室
介護保険の種目	 腰掛便座
分類コード (CCTA95)	091203 (ポータブルトイレ)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

家族が購入したひじ掛けなしのポータブルトイレによって問題が生まれました。本人の起居動作や移乗能力と、ポータブルトイレの形や機能が適合していなかったことが原因です。結果として、ひじ掛け付きポータブルトイレに変更することになりました。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：利用者の起居動作・移乗能力が低かった
- 人：支援者がニーズ把握やアドバイスがなかった
- モノ：肘掛のない軽量で不安定なポータブルトイレだった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 343

ポータブルトイレが動き、転倒しそうになる

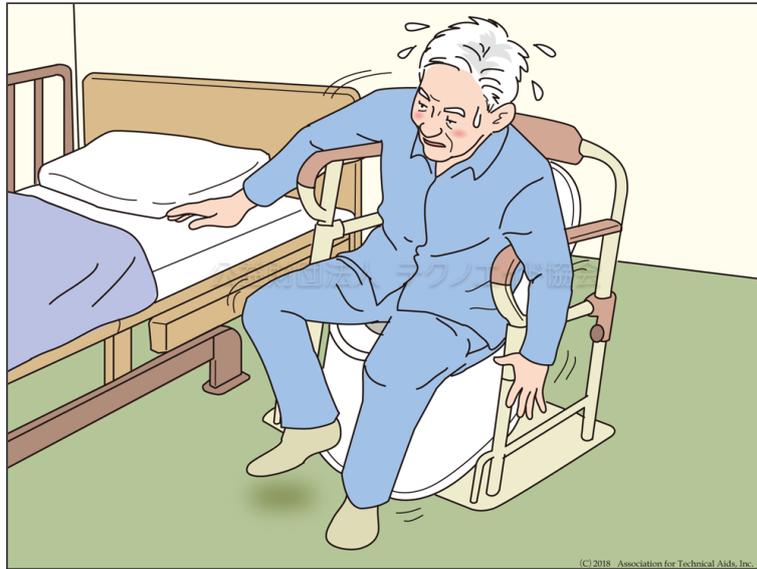
事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

ひじ掛けのないポータブルトイレを使用しており、座位安定と立ち上がりの補助にポータブルトイレ用手すりを導入した。トイレと手すりが固定ができず、使用のたびに動いてしまい転倒しそうになった。



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ